

平成 30 年 12 月 3 日

杉並区長 殿

杉並区NPO等活動推進協議会
会長 福島 康仁

平成 30 年度杉並区協働提案実施事業の評価結果について

平成 30 年度杉並区協働提案実施事業について、下記のとおり評価を行ったので報告します。

記

1 杉並区協働提案実施事業評価委員

氏 名	区分	備 考
ふくしま やすひと 福島 康仁	杉並区NPO等活動推進協議会会長、 同協議会協働推進部会部会長	日本大学法学部 公共政策学科教授
ただ くにあき 多田 邦晃	杉並区NPO等活動推進協議会 協働推進部会部会員	区民公募
まつもと さおり 松本 沙織		区民公募
はちや えっこ 八谷 悦子		NPO等活動関係者（公 募）
みはら きくえ 三原 紀久恵		団体推薦（東京税理士会 荻窪支部）
おく まさる 奥 優		団体推薦（公益社団法人 東京青年会議所）

2 平成 30 年度杉並区協働提案実施事業一覧

【平成 28 年度からの継続事業】

提案団体名	協働提案名	担当課
特定非営利活動法人 ピルコン	すぎなみレッドリボンプロジェクト	保健福祉部 保健予防課 感染症係

3 協働提案の評価方法

◆ 評価対象

(1) 実施事業関係書類の書類審査

- ①「平成 30 年度杉並区協働提案実施予定事業の評価結果(H29.12.1)」
- ②「協働提案事業協定書」(平成 30 年度)
- ③「協働提案実施事業計画書」(平成 30 年度)
- ④「収支予定書」(平成 30 年度)
- ⑤「協働提案実施事業報告書」(平成 30 年度) ※平成 31 年 4 月提出予定
- ⑥「収支報告書」(平成 30 年度) ※平成 31 年 4 月提出予定
- ⑦「事業に係る成果物(小冊子等)」
- ⑧「平成 29 年度杉並区協働提案実施事業の評価結果」(継続事業のみ)

(2) 提案団体・担当課による公開報告、質疑(H30.11.12 開催)

(3) 公開報告会後の各部会員の意見交換(H30.11.12 開催)

◆ 評価方法

- 「協働提案評価表」を使用して各部会員が評価項目ごとに ABCDE 評価する。

A=特に評価できる(5点)、B=どちらかといえば評価できる(4点)、C=標準的である(3点)、D=どちらかといえば評価できない(2点)、E=評価できない(1点)

- 各部会員評価表を集計し、以下のとおりの採点を評価の参考とする。

評価項目及び全体の平均点を出す。平均点を出すに当たっては、6 人の平均点を算出

- 評価については、平均点に応じて以下の 5 段階で行うこととする。

A	B	C	D	E
特に評価できる	どちらかといえば 評価できる	標準的である	どちらかといえば 評価できない	評価できない
5～4.45	4.44～3.45	3.44～2.45	2.44～1.45	1.44～1

4 評価内容

平成 30 年度実施事業（平成 28 年度からの継続事業）

提案団体名	協働提案名	担当課
特定非営利活動法人 ピルコン	すぎなみレッドリボンプロジェクト	保健福祉部 保健予防課 感染症係

○ 評価結果

「B」

○ 評価コメント

提案書類審査結果および公開プレゼンテーションに基づき、杉並区NPO等活動推進協議会は、協働テーマ「すぎなみレッドリボンプロジェクト」にかかる「特定非営利活動法人ピルコン」および「杉並区保健福祉部保健予防課感染症係」の協働提案実施事業について、「どちらかといえば評価できる」と評価した。以下において、評価項目ごとの評価結果と若干の意見を付記した。

提案団体および区担当課の課題・ニーズ把握については、性というタブー視される問題に正面から取り組んでいる。29年度に引続き、アイデアとデザインの力で大切な課題に果敢に取組、解決に向けた事業が実施できている。

協働の効果については、アウトリーチ啓発活動、ピア・エデュケーション、リーダーの育成について一定の目標は達成できている。協働でなければ効果を出すのが難しいテーマであり、事業活動の成果に一定の評価はできる。

地域資源の活用については、地域人材を十分に活用したとはいえ、まだ活用の余地があるように思われる。ただし杉並区役所でのピアリーダーの育成、座・高円寺でのエイズイベント、杉並公会堂での成人祝賀の活動で、有効に事業を実施している点は評価したい。

区民満足度については、区民の満足度をはかる指標自体がないので難しいが啓発活動という点では広報誌やチャリティグッズは評価できる。ただし、イベントの告知など積極的になされていたか、疑問が残るが、20代、30代を中心に増加傾向である点は評価したい。

団体の事業実現力および団体の事業組織力については、30年度の予算では企業協賛を計上していたがうまくいっていないなど課題が残った。

計画性については、ピアリーダーの研修、育成の内容がわかりにくいので改善してほしい。

経済性については、より企業協賛を進めてほしい。

創造性・新規性については、当該団体は斬新な発想、アイデアとデザイン力、素晴らしいチャレンジ精神をもっている。区との協働とともに、他の団体等と連携して続けてほしい。

継続性・波及性については、育成したピアリーダーに活躍の場があれば継続、地域への波及もできるのではないかと思う。

最後に、評価項目以外の意見を注記したい。

杉並区内の若者は、区にとって大切な財産である。そのような若者世代を対象としたこのような事業は、まさに公益に寄与する事業と考えられる。本テーマを行政との協働提案として実施されたことはとても意味がある一歩であったと思われる。

啓発資材をより活用し、チャレンジ精神のあるアイデアなども発揮されていたが、「性」に関わるということだけで様々な否定的な考えにおされ、活動の阻害要因が存在したことは誠に残念である。

継続しない事業と結果が出ているのは、極めて残念であり、企業協賛を含め他の団体と協力して活動が発展してほしいというのが本事業に対する評価に携わった協議会委員の一致する見解であった。

こうしたことから今後、何らかの形で事業を継続して実施できるよう、区が再考することを強く求めたい。

5 杉並区協働提案評価集計表

別紙のとおり